



高原の自然館ニュースレター

# 苅尾電波塔

第 62 号

2009.3.1

高原の自然館

苅尾（かりお）とは、広島県北広島町芸北にある山の名前です。  
一般には臥竜山として知られていますが、地元の人たちは親しみをこめて「かりお」  
の名前をつけています。

## も く じ

### おしらせ

- 『苅尾 17 号』の原稿を募集
- 『花だより』を出版
- 「プレミアリポート」の連載開始

### 活動報告

- 雪原のトレッキング（2月）

### 観察会案内

- 雪原のトレッキング（3月）

## お し ら せ

### ● 『苅尾 17 号』の原稿を募集

西中国山地自然史研究会の会報『苅尾』の原稿を募集しています。内容は西中国山地の自然や動植物に関する情報や自然に関わる活動報告、自然賛などで、600～1600字程度にまとめてください。今回は草原の特集を組む予定です。雲月山や千町原など、草原にまつわる記事があれば、ぜひご投稿ください。写真を大歓迎します。あなたのみつけた小さな発見を、会員のみなさんにも伝えてください。

### ● 『花だより』が出版されました

『広報きたひろしま』に連載され、好評を頂いている「高原からの花だより」が一冊の本になりました。八幡高原の彩る植物たちの物語に写真に添えて、季節の移ろいとともにご紹介いたします。美しく、時にしたたかな花たちのお話しです。

『花だより』白川勝信著、定価：2000円

※ご購入の申込み・お問い合わせ

西中国山地自然史研究会

メール :staff@shizenkan.info

電話 :080-6334-8601(月～金)

### ● 「プレミアリポート」連載開始のお知らせ

中国新聞社のホームページ内にあるコーナー「リポーター発」に、白川学芸員の記事が連載されます。芸北を舞台に、写真を使いながら、生態系のしくみを分かりやすく紹介していきます。

リポーター発 | 中国新聞

<http://www.chugoku-np.co.jp/reporters/>

## 観 察 会 報 告

### ● 雪原のトレッキング

開催日時:2009年2月21日(土) 10:00

早い春一番の後、さすがの八幡もすっかり雪が解け、数日前の15cmの積雪でかろうじて雪上を歩ける状態でした。かんじき初体験の方を含め15名で出発です。しっかり冷え込んだ朝、動物の足跡はたくさん観察することができました。まず見つかったのは、積雪がたくさんあった頃のウサギの食痕で、ずいぶん高い位置にありました。食べているのはカラスザンショウやノイバラ、クマイチゴなどです。小さいウサギのものと見られる足跡やおしっこの跡など、昨夜の行動を想像できるものが多数ありました。木の幹にはキツツキがカミキリムシの幼虫を突いた穴もありました。この時期でもイタチは川に下りて捕食しているようで、上り下りの足跡もみられました。ネズミ(アカネズミ?)の雪上移動の跡。タヌキが食べたと思われるヒヨドリの残骸は初めて見ました。積雪があるので再生地の中へも入り、観察することができました。霧ヶ谷の歴史、事業の目的など話を聞きました。再生地内の池もまわりにはカモの足跡が見られました。これも事業後の変化のひとつです。その他、ウソやコゲラ・ユスリカ・トビケラ・ウスタビガやクスサンの繭(抜け殻)を見ることができました。キツネ・テン・アカネズミ(しっぽの跡も有り)・ホンドイタチ・ホオジロの足跡を観察しました。積雪は少なかったのですが、昨夜の天候のせいもあり、動物たちはよく行動したようです。その痕跡をたくさん見ることができて、水際には氷の芸術も鑑賞し、晴天に恵まれた楽しい観察会でした。[やなぎざきのぶこ]



かんじき希望者に履き方をレクチャー中。



ウサギの食痕を説明する上野先生。



みんなの視線の先には・・・  
タヌキが食べたヒヨドリの残骸。足跡と食べ方からわかるそう。



氷の芸術作品を発見.



自然再生地に行く.



おたまじゃくしのような形のネズミの足跡. しっぽの跡がユーモラス!



トビケラのすみか. 中は空だった.

### 【みなさんの印象に残った物】

「ヤドリギの芽やヒヨドリがケモノに食べられた跡」「カモとかホオジロの足跡が見れたこと」「動物の足跡が多くあり寒い雪の中でも動物が活動しているのが良くわかりました.」「鳥の足跡 ・ タヌキのお食事跡」「ねずみの足跡があったこと」「ウソ」「足跡で動物がわかる」

### 【参加したみなさんの感想 (抜粋)】

「一度八幡高原に来て見たかったので良かったです. 自然に触れて癒されました.」「雪のシーズンだからこそその自然観察会, 他シーズンでは歩けない所で」「天候にめぐまれ春を感じました. コタツから抜け出して活動しなければ」「足跡がはっきり見られて良かったです. 天気もいいし気持ち良かったです.」「いろいろな足跡があつて, おもしろかった.」「沢山の足跡が見ることができて楽しかったです.」

## 観 察 会 案 内

観察会に参加される時には、次のようなものを持参してください。カメラ、双眼鏡、ルーペ、図鑑などもあれば、楽しいと思います。

**基本セット**：山を歩ける服装、雨具、飲み物、おやつ、筆記用具、メモ帳  
**作業セット**：作業ができる服装、長靴、軍手、雨合羽、飲み物、おやつ

### ● 雪原のトレッキング

開催日時：2009年3月8日(日) 10:00

集合場所：高原の自然館

※高原の自然館が集合場所となっておりますが、千町原の道路は残雪が予想されます。念のため県道307号線から「芸北高原の自然館」という縦型の看板を目印においでください。

準備：基本セット、かんじき(レンタルもあります ¥200)

定員数：30名

参加費：300円(ただし、西中国山地自然史研究会会員は100円、高校生以下は無料)



2月中旬から積雪がなかったため、今年は早く雪が消えそうです。いきものや植物たちはどんな姿で春を待っているのでしょうか。春の訪れを感じながら、ゆっくりと歩いて観察しましょう。

#### — インターネット版苅尾電波塔の紹介と購読移行のお願い —

苅尾電波塔はインターネットを利用した e-mail でも発行されています。印刷版と同じ情報が毎月あなたのメールアドレスに届きます。さらに e-mail なら、関連ホームページを見たり、そのまま返事することで観察会の申し込みができたり、とっても便利です。パソコンで e-mail をお使いの方ならどなたでも無料で申し込みができます。まずは高原の自然館ホームページをご覧ください。

高原の自然館ホームページからは、苅尾電波塔(紙版)の pdf ファイルをそのままダウンロードできます。郵送している紙版に比べ、鮮やかなカラー写真を見ることができ、ダウンロードしたファイルはご家庭のプリンタを使って印刷することもできます。そこで、高原の自然館では紙版(郵送)からインターネット版への購読移行をお願いしています。今後、紙版の郵送が不要な方は、高原の自然館までご連絡ください。みなさまのご協力をお願いいたします。

【高原の自然館】<http://shizenkan.info/>

田んぼの雪もとけ、春の兆しが少しずつ感じられるようになってきました。陽が昇る時間が早くなり、鳥のさえずりもにぎやかに聞こえてきます。暖かな日差しのおかげで、3ヶ月振りに外に洗濯物が干せそうです。うれしい～。(この)

記事に関するお問い合わせ、観察会のお申し込み先  
(ご意見・ご感想もお待ちしております)

高原の自然館(こうげんのしぜんかん)

〒731-2551 広島県山県郡北広島町東八幡原 119-1

tel. & fax : 0826-36-2008

<http://shizenkan.info/>

[staff@shizenkan.info](mailto:staff@shizenkan.info)